

背景・課題

有機農業や有機農産物に対する消費者の関心が高まっていることから、今後消費拡大が期待されるため、枝豆の有機栽培面積の拡大を計画。生産量の拡大と流通体制の構築を図るためには、生産者の高齢化等に伴う「労働力不足」や、新規有機農業者の「栽培技術取得の難しさ」等を克服する必要がある。



川西町

構成員

川西町、生産者（団体含む）、飲食店、県立置賜農業高校等

品目

えだまめ

成果目標と達成状況

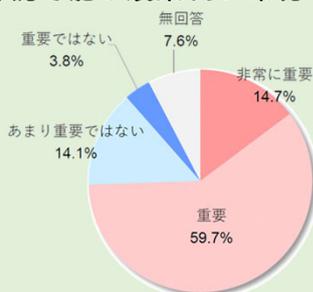
	【計画時】	⇒	【目標】	⇒	【現状（達成率）※】
○有機農業栽培面積拡大（枝豆）	2.6ha		4.6ha		2.9ha (15.0%)
○有機農業実践者数増加	14人		17人		16人 (66.6%)
○有機販売量拡大（枝豆）	7,800kg		13,800kg		8,700kg (15.0%)

※令和4年度末時点

取組の成果

- 有機農業実施計画策定に向けた検討会の実施
  - 有機農業推進のための試行的な取組の実施
    - ・有機農業に関心のある農家の潜在調査を行い、新規で有機農業に取り組む農業者の掘り起こし
    - ・マメの展示会出展や新聞へのチラシの折込み等によりイベント開催等について情報発信
    - ・新たな有機農産物の枝豆を活用した加工品試作や有機紅大豆のレストラン等での活用
    - ・有機農業に関する消費者の知見を高めるイベントの開催（500名来場）等
- ⇒以上の取組を行った結果、特に有機農業実践者数増加と販売量拡大に繋がった。

持続可能な農業及び環境に配慮した取組の重要度（アンケート調査結果（抜粋））



有機栽培した枝豆を活用したショートパスタの試作



有機農産物の販売会

普及に向けた取組

- 今後、新たに有機農業に取り組む農家に対しては、県や町、熟練農業者等が連携し栽培技術等の指導体制の充実を図り、継続的な支援を行う。
- 大規模消費地で開催される商談会等に出展し、全国への販路拡大及び町内産有機農産物の周知とブランド化に繋げる。
- 地元消費者への周知と地域外消費者に対しアプローチすることで有機農産物の消費拡大を図る。

問い合わせ先

かわにしオーガニックビレッジ推進協議会  
事務局 山形県川西町産業振興課 TEL：0238-42-6641